



日本共産党文京区議会議員  
まんだち幹夫通信  
2009年 新春号

# 「みなさんをいつもまんやかに」

■区議団控室：5803-1317（直通）

■自宅：Tel・Fax 3814-3935

メール：mandachi@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp

くらし応援 働くルール確立 子育て支援

## 2009年 国民生活を支援する政治に変えましょう

激動の中で2009年を迎えました。福祉の切り捨て、高齢者の姥捨て、若者の使い捨て…そんなことばで表わされた昨年は、悪政の強行とともに、それへの反撃が始まった年ともいえます。今年こそ、政治を変える流れをさらに大きくして、だれもが希望のもてる年にしたいと思います。 2009年 萬立 幹夫



右から萬立幹夫区議、小竹ひろ子都議、中島つかね東京二区国政対策委員長

【萬立幹夫プロフィール】1959年：浜松市出身 2005年度まで：区内小学校PTA会長 2007年：区議会議員 「文教委員」、「防災まちづくり」、「清掃リサイクル」特別委員



### くらし 営業

### 「金融危機」のしわ寄せを 国民にまわすことは許せない

各地で吹き荒れる大企業の大量解雇。名だたる会社が契約途中の従業員解雇をまるで競い合うようにすすめています。これは労働契約法などに違反する行為です。区内でも昨年の燃油高騰や親会社の郊外への移転などにもない、廃業せざるを得ないケースがさらに増えています。結局、家賃や従業員への支払いのない業



街頭から訴える萬立幹夫区議(左)

### 子育て 福祉

### 子育て支援の「質」の確保を 医療・介護の制度改善を

安心して働きながら子育てがしたいーその願い実現に力を入れます。保育園入園待ち児童数は昨年、一二人に急増。「緊急対策」が講じられましたが、区立認可園の新増設はしないのが区の立場です。「認証保育所」で保育の質が確保できるのか? 「子育て支援計画」の改定の中で、正面から議論すべきです。



本郷保育園の給食室前で

### 第六中学校の改築のための検討委員会が始まりました

耐震度Cランクの第六中は、「統廃合年次計画」で改築計画がストップしていましたが、やっと改築の運びになります。昨年学校を訪問した際には、校舎のひび割れ、傾斜による「自動扉」状態など老朽化の激しさを目の当たりにしました。学校、PTA関係者も含めて検討委員会をつくり、高層化は適当か、近隣の地域活動センターや区有施設の併設も可能か…今後議論を重ねます。



### 「柳町子どもの森検証委員会」 この先の幼保一元化を考えるようですが…

「幼保一元化」のモデル園として開園から3年を迎える「柳町子どもの森」。これまでずっと要求してきた「検証委員会」が立ち上がりました。子どもの育ち、保護者や職員間の課題を整理して、本来、管轄も性質も違う幼稚園と保育園を「一元化」したことの、効能とデメリットを検証することは大事です。「中間のまとめ」では、「デメリットの克服は大変だ」というのが実感です。子どもを第一にじっくり議論することを望みます。



### 「区立小中学校の将来ビジョン案」に求められるのは、公教育のあり方では?

小学校は現状のままでも児童数を平準化 中学校は一校平均300人をめざし8〜9校へ? 「教育委員会が「案」を決定

一年以上かけて議論してきた「区立小中学校の将来ビジョン策定協議会」の議論を受けて教育委員会は昨年末、「将来ビジョンの案」を決定しました。これを受けて区民へのパブリックコメント(意見の募集)↓「策定協議会」で論議↓今年度内に策定、という流れになります。

昨年の文教委員会でも議論となりましたが、▼教員のゆとり、負担の軽減策が保証されていない ▼教育環境の向上にとって欠かせない少人数学級の位置付けがあまり ▼「学校選択制」

### 学校統廃合計画の経緯

- 平成8年 第一次適正配置 →元町と真砂小の統合 →第2、4中の統合
- 15年 教育改革区民会議
- 17年 区民会議の答申
- 18年6月「将来ビジョンの素案」を決定。統廃合計画が出される。
- 19年10月 「年次計画」を凍結し「策定協議会」が発足され、20年6月「年次計画」の廃案
- 20年12月 「将来ビジョンの案」決定

### 日本共産党 区議団 昨年一年間で 議員条例提案6件 予算修正案も提出

区長提出議案76件の議案のうち日本共産党区議団は71%にあたる55件に賛成。区民の立場から22件は反対しました。議員提出の条例提案は6件、平成20年度予算審議では、修正案も野党会派と一緒に起こないまま。渋谷区などで実施されている区独自の介護ヘルパー派遣制度の創設や、議員手当の特別な配分と「費用弁償」(議会開催日の交通費)の廃止なども提案しましたが、与党会派の反対でいずれも「不採択」でした。

◆9月5日 昨年脚光を浴びた小説「蟹工船」の上映会をしました。民主商工会の協力で大きなスクリーンでの鑑賞。当時の労働者の実態が現実と重なりました。

◆10月22・23日 区議会文教委員会の視察で、小倉、津和野(島根県)を訪ねました。文京での「森鷗外記念館」建設にあたっての視察でしたが、各地では自治体が責任をもって直営で運営していたことが印象的でした。

◆10月26日 恒例の「礪川おやじの会」稲刈りに厚木まで行きました。今年も春に植えた苗が立派に育ち、子どもたちも含め50数人で収穫です。昼食の芋煮も最高でした!

◆11月30日 第34回礪川マラソンの要員として今年もお手伝い。参加者は年々増え、エントリーは千人弱にもなりました。私は駐輪場で案内役。レースは見られませんが、ランナーのマナーの良さに気持ちがあみまします。



小倉の鷗外旧宅前で

### まんだち日記